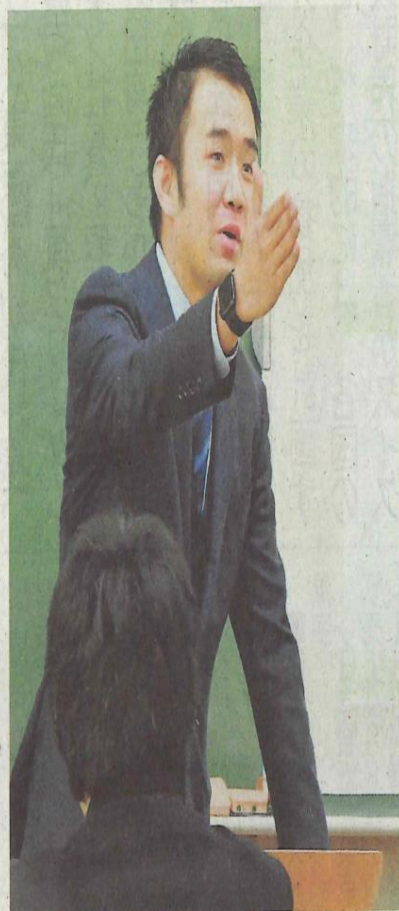




報道で紹介された美瑛高校 40

◆令和7年2月4日5日(R7. 2.8 北海道新聞)

美瑛町地域おこし協力隊でファイナンシャルプランナーの寺地様を講師に迎え金融教室を実施しました。普段なかなか聞くことのないライフプランや実際の金利等のしくみなど専門家の方にわかりやすく教えていただき、貴重な時間となりました。



キャッシュレス決済や分割払いの仕組みについて解説する寺地さん

金融教育 先生は協力隊員

ファイナンシャルプランナー寺地さん

【美瑛】2022年度から高校で必修化した「金融教育」の授業をサポートしようと、ファイナンシャルプランナーで、町の地域おこし協力隊員の寺地広将さん(28)が4、5の両日、美瑛高で授業を行った。1年生14人を対象にキャッシュレス決済や分割払いの注意点を解説した。

金融教育は成人年齢引き下げに伴うトラブル防止などを目的に家庭科で取り入れられている。同校ではこれまで金融機関の職員が講

師を務めており、協力隊員による授業は初めて。

5日の授業で寺地さんは、クレジットカードで支払う人は現金払いの人よりも消費額が1.7倍多くなるとの業界団体の調査結果を示し、キャッシュレス決済の特徴を説明。毎月の支払額が抑えられる「リボルビング払い」については「手数料が高く、支払いも長期化しやすい」と注意を促した。

受講した千脇温杜さん(16)は「分割払いの注意点は改めて勉強になった」。寺地さんは「金融リテラシーを高めるきっかけになったら」と話した。

(山中悠介)

美瑛高1年生に授業